

研究課題名：ペメトレキセド投与期間中に発症した薬剤性肺障害症例の臨床的検討
研究期間：病院長許可日から2018年4月30日
対象材料： <b>■ 診療録</b> 2012年1月～2017年7月までに当科で診療を行った肺癌患者。
<p>意義、目的：殺細胞性抗癌薬であるペメトレキセドは、非扁平上皮肺癌の治療薬として使用される頻度の多い薬剤です。プラチナ製剤との併用や単剤投与、また維持療法としてのエビデンスも現時点では有効な報告が多く、今後も使用される機会は多いと思われませんが、その経過中に、有害事象として薬剤性肺障害の報告も僅かながら報告はあります。</p> <p>当院においてもペメトレキセドが原因と思われる薬剤性肺障害の報告例は数例ながらあります。しかし、ペメトレキセド使用者での薬剤性肺障害の頻度・リスク因子やその臨床像は明らかとはいえません。そこで、ペメトレキセド使用者における薬剤性肺障害の臨床像を明らかにすることは肺癌の治療を行う上で有意義なことと考えられます。</p>
<p>方法：</p> <p>2012年1月から2017年7月までに当科でペメトレキセドを治療薬として投与された非扁平上皮肺癌症例175名のうち、薬剤性肺障害を発症した10名につき、その臨床像を、臨床記録をもとに、後方視的に検討を行います。診療記録や抽出情報は厳重に管理し、学会発表や論文発表などの際も個人情報やプライバシーは保全致します。また、この研究において、臨床情報を使用する事を承諾されない場合は、下記までご連絡下さい。また、その場合でも、患者様が不利益を被ることは一切ございません。</p>
<p>問い合わせ・苦情等の窓口：</p> <p>磐田市立総合病院 呼吸器内科： 妹川史朗 0538-38-5000</p>